業務状況報告について

国民健康保険山城病院組合介護老人保健施設事業の設置等に関する 条例(平成19年3月5日組合条例第7号)第6条の規定に基づき、介護老人 保健施設事業会計の業務状況を別紙のとおり報告する。

令和5年5月31日提出

国民健康保険山城病院組合管 理者 谷口雄一

介護老人保健施設事業業務状況報告書

令和5年5月31日

国民健康保険山城病院組合

1 事業の概況

令和4年度下期における施設利用療養者数は、入所利用者数延べ11,010人(1日平均60.5人)、短期入所利用者数延べ235人(1日平均1.3人)、通所リハビリ利用者数延べ1799人(1日平均15.0人)となりました。

下期における施設利用療養者数の状況は、第1表のとおりです。

第1表

施設利用療養者数実績表

(単位:人)

	項	目		予定療養者数	実績療養者数	達成率(%)	差 引 (実績—予定)
		入所者	4年度下期	12,740	11,010	86.4	△ 1,730
		八川石	昨年同期	17,654	16,248	92.0	△ 1,406
療	延療養者数	短期入所者	4年度下期	364	236	64.8	△ 128.0
	建 原设有数		昨年同期	182	166	91.2	△ 16.0
養		通所リハビリ者	4年度下期	2,160	1,799	83.3	△ 361
			昨年同期	2,160	1,639	75.9	△ 521
		入所者	4年度下期	70	60.2	86.0	△ 9.8
者)	昨年同期	97	89.3	92.1	△ 7.7
	 1日平均	短期入所者	4年度下期	2.0	1.3	65.0	△ 0.7
数) W / 91 / V /) · E	昨年同期	2.0	0.9	45.0	△ 1.1
		通所リハビリ者	4年度下期	18	14.6	81.1	△ 3.4
		MB/ハハ・5 /石	昨年同期	18	13.7	76.1	$\triangle 4.3$

2 経理の状況

令和4年度下期における経理の状況は、収益的収支では、療養収益が187,501千円、療養外収益が52,970千円、総収益240,471千円、療養費用が237,519千円、療養外費用が30,822千円で、総費用268,341千円となり、差引き27,870千円の純損失が生じました。

昨年度同期と比較すると、収益では、施設療養収益が61,892千円(28.3%)の減、短期入所療養収益は1,456千円(64.5%)の増、通所リハビリ療養収益は2,045千円(11.7%)の増、その他療養収益は1,895千円(19.6%)の減、療養収益全体では60,287千円(24.3%)の減となりました。療養外収益は、29,962千円(130.2%)の増、収益全体で30,325千円の減となりました。

また費用では、給与費で22,504千円(12.1%)の減、材料費で5,649千円(30.5%)の減、経費で9,098 千円(16.9%)の減で療養費用全体では39,936千円(14.4%)の減となりました。療養外費用は6,695千円(27.7%)の増、費用全体では33,242千円(11.0%)の減となりました。

令和4年度下半期の収益的収支構成表は第2表、損益計算書は第3表のとおりです。

また貸借対照表は第4表のとおりであり、総資産額は797,390千円となっており、そのうちの69.7%に 当たる555,650千円が固定資産となっています。一方、負債は1,126,176千円、資本は△328,786千円と なっています。

(単位:円)

	1		-				(単位:円)
	年度	令和4年度	(A)	令和3年度	(B)	比	較
科	目	金額	総支出 対比率	金額	総支出 対比率	増 減 (A)-(B)	(A)-(B)
	療養収益	187,501,225	% 69.9	247,787,924	% 82.2	△ 60,286,699	% △ 24.3
	施設療養収益	156,508,809	58.3	218,401,258	72.4	△ 61,892,449	△ 28.3
	短期入所療養収益	3,712,922	1.4	2,256,925	0.7	1,455,997	64.5
収	通所リハビリ療養収益	19,499,008	7.2	17,454,103	5.8	2,044,905	11.7
	その他療養収益	7,780,486	2.9	9,675,638	3.2	△ 1,895,152	△ 19.6
	療養外収益	52,970,213	19.7	23,008,615	7.7	29,961,598	130.2
入	他会計繰入金	9,604,000	3.6	10,075,000	3.3	△ 471,000	$\triangle 4.7$
	その他療養外収益	43,366,213	16.2	12,933,615	4.3	30,432,598	235.3
	特別利益	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	240,471,438	89.6	270,796,539	89.8	△ 30,325,101	△ 11.2
	療養費用	237,518,967	88.5	277,455,138	92.0	△ 39,936,171	△ 14.4
	給 与 費	164,114,025	61.2	186,617,923	61.9	△ 22,503,898	△ 12.1
	材 料 費	12,883,081	4.7	18,532,105	6.1	△ 5,649,024	△ 30.5
	経 費	44,693,203	16.7	53,791,131	17.8	△ 9,097,928	△ 16.9
支	減価償却費	15,752,961	5.9	17,865,155	5.9	△ 2,112,194	△ 11.8
	資産減耗費	4,793	0.0	614,101	0.2	△ 609,308	△ 99.2
	研究研修費	70,904	0.0	34,723	0.1	36,181	104.2
出	療養外費用	30,822,200	11.5	24,127,690	8.0	6,694,510	27.7
	支払利息及び 企業債取扱諸費	7,965,978	3.1	8,479,156	2.8	△ 513,178	△ 6.1
	その他療養外費用	22,856,222	8.5	15,648,534	5.2	7,207,688	46.1
	特別損失	0	0.0	0	0.0	0	_
	計	268,341,167	100.0	301,582,828	100.0	△ 33,241,661	△ 11.0
	純 損 益	△ 27,869,729		△ 30,786,289		2,916,560	

第3表

令和4年度下期 介護老人保健施設事業損益計算書 (令和4年10月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

区 分	金	額	(単位:円) i
1 療養収益			
(1) 施設療養収益	156,508,809		
(2) 短期入所療養収益	3,712,922		
(3) 通所リハビリ療養収益	19,499,008		
(4) その他療養収益	7,780,486	187,501,225	
2 療養費用			
(1) 給 与 費	164,114,025		
(2) 材 料 費	12,883,081		
(3) 経 費	44,693,203		
(4) 減価償却費	15,752,961		
(5) 資産減耗費	4,793		
(6) 研究研修費	70,904	237,518,967	
療養損失			50,017,742
3 療養外収益			
(1) 受取利息配当金	0		
(2) 他会計繰入金	9,604,000		
(3) 長期前受金戻入	12,837,122		
(4) 資本費繰入収益	1,790,430		
(5) その他療養外収益	28,738,661	52,970,213	
4 療養外費用			
(1) 支払利息及び			
企業債取扱諸費	7,965,978		
(2) 消費税及び地方消費税	9,473,200		
(3) 雑 損 失	11,860,491		
(4) 長期前払消費税勘定償却	1,522,531	30,822,200	22,148,013
経常損失			27,869,729
5 特別利益	0	0	
6 特別損失	0	0	0
当期純損失			△ 27,869,729
前期繰越欠損金			\triangle 429,159,579
当期未処理欠損金			<u>△ 457,029,308</u>

令和4年度 介護老人保健施設事業貸借対照表 (令和5年3月31日)

(単位:円)

_					1	1										<u> </u>
	資	産	0	部				負	債		•	資	本	の	部	
	科	目		金	額			科			F	1			金	額
1	固定資産			555	,650,330	3	固定	負債							828	3,209,720
	(1)有形固定資	産		543	,624,512		(1)企	業債							57	4,835,761
	イ 建物			784	,093,091		(2)他	会計	借入	.金					20	8,743,482
	建物減価價	賞却累計額		293	,563,240		(3)h	一ス債	責務						4	4,630,477
	口 建物附属語			12	,088,743	4	流動	負債							10′	7,770,269
	建物附属記	设備減価償:	却累計額	1	,146,782		(1)企	業債							4	2,980,559
	ハ 器械備品			53	,662,498		(2)他	会計	借入	.金					1	5,945,130
	器械備品源	域価償却累	計額	44	,103,211		(3)jì	一ス債	責務							5,395,368
	ニ リース資産			46	,354,687		(4)未	払金							2	0,207,192
	リース資産	減価償却累	計額	13	,761,274		(5)号	当金							1	9,235,000
	(2)投資			12	,025,818		(6)そ	の他	流動	負債	ĺ					4,007,020
	イ 長期前払消	肖費税		12	,025,818	5	繰延	収益							190),196,116
2	流動資産			241	,739,467		(1)長	期前	受金						43	1,735,000
	(1)現金預金			176	,051,510		(2)長	期前	受金	:収益	比!	累計客	頁		24	1,538,884
	(2)未収金			63	,937,716		負		債		合		計		1,120	5,176,105
	(3)貯蔵品			1	,728,504											
	(4)前払費用				21,737	6	資本	金							128	3,243,000
							(1)資	本金							12	8,243,000
						7	剰余	金							△ 45′	7,029,308
							(1)資	本剰	余金							0
							(2)利	益剰	余金						△ 45	7,029,308
							1 }	当年度	[未处	L理/	欠損				45	7,029,308
							資		本		合		計		△ 328	3,786,308
	資 産	合	計	797	,389,797		負	債	• }	資	本	合	計		79′	7,389,797

3 令和5年度予算の概要

令和5年度の業務の予定量としては、下記のとおりとなります。

年間入所利用者延人数は22,692人(1日平均62人)、年間短期入所利用者延人数732人(1日平均2人)、年間通所リハビリ利用者延人数4,374人(1日平均18人)と見込んでおり、これを昨年度と比較すると、年間入所利用者延人数では2,858人(11.2%)の減、年間短期入所利用者延人数では2人の増(1.03%)、年間通所リハビリ利用者延人数では同推移となっています。

収益的収支における収入は、療養収益が389,120千円、療養外収益が53,520千円で、事業収益としては442,641千円を見込んでおり、これを昨年度と比較すると、療養収益では27,213千円(6.6%)の減、療養外収益では6,614千円(11%)の減、事業収益では33,827千円(7%)の減となっています。一方、支出は、療養費用が491,887千円、療養外費用が18,898千円で、事業費用としては511,286千円を見込んでおり、これを昨年度と比較すると、療養費用では195千円(0.04%)の減、療養外費用では11,178千円(37.2%)の減、事業費用では11,373千円(2.2%)の減となっています。収入合計が442,641千円、支出合計が511,286千円で、68,645千円の赤字予算となっています。

資本的収支における収入は、他会計負担金が43,942千円、国庫補助金1千円、府補助金1千円で収入合計43,944千円を見込んでいます。これを昨年度と比較すると、他会計負担金では927千円(2.1%)の増、固定資産売却代金では250,000千円(100%)の減となり、収入合計では249,071千円の減となっています。

一方、支出は、建設改良費が12,419千円、企業債償還金が42,981千円、他会計償還金が15,946千円で、支出合計71,346千円を見込んでいます。これを昨年度と比較すると、建設改良費では5,826千円(88.3%)の増、企業債償還金では925千円(2.2%)の増、他会計償還金では24,141千円(60.2%)の減、支出合計では17,390千円(19.6%)の減となっています。

業務の予定量、収益的収支の予定額、資本的収支の予定額及び市町村分担金は次のとおりです。

〈1〉 業務の予定量

(1) 定 員

入 所 定 員 66人通 所 リハビリ定 員 20人

(2) 利用者数

入所利用者延人数22,692人1日平均利用者数62人短期入所利用者延人数732人1日平均利用者数2人通所リハビリ利用者延人数4,374人1日平均利用者数18人

〈2〉 収益的収入及び支出

(収入)

第1款 施設事業収益		442,641千円
第1項 療 養 収	益	389, 120千円
第2項療養外収	益	53, 520千円
第3項 特 別 利 益		1千円
(支 出)		
第1款 施 設 事 業 費 用		511, 286千円
第1項 春 養 費	用	491 887千円

第1項 療 養 費 用491,887千円第2項 療 養 外 費 用18,898千円第3項 特 別 損 失1千円第4項 予 備 費500千円

〈3〉 資本的収入及び支出

(収入)

() - / - /	
第1款 資 本 的 収 入	43, 944千円
第1項 他 会 計 負 担 金	43, 942千円
第2項 固定資産売却代金	0千円
第3項 国 庫 補 助 金	1千円
第4項 府 補 助 金	1千円
(支 出)	
第1款 資 本 的 支 出	71, 346千円
第1項 建 設 改 良 費	12, 419千円
taba A NIII taba 1011 Nimi A	

第1項 建 設 改 良 費12,419千円第2項 企 業 債 償 還 金42,981千円第3項 他 会 計 償 還 金15,946千円

〈4〉 組合市町村分担金

				予	算	科	目	区	分	
市町村名	分	担	金	収益的収	八繰	入金	資ス	x的収.	入負担	金
			(千円)			(千円)			(=	戶円)
木津川市		53	3, 548		15	, 749			37,	799
笠 置 町		-	L, 567			451			1,	116
和東町		۷	1, 176		1	, 206			2,	970
南山城村		4	2, 890			833			2,	057
計		62	2, 181		18	, 239			43,	942

4 令和5年度経営方針

回復期リハビリテーション病棟の開設に伴い、令和4年10月から定員数が100名から66名に減少したことにより収入減となるものの、入所者が早期に在宅復帰が可能となるよう機能訓練を充実させるとともに、各関係機関等との連携を強化することで、入所者の回転率、在宅復帰率を高め、収益増に取り組んでいく。

その方策として、

- ・「短期集中リハビリ」、「認知症短期集中リハビリ」を重点的に実施し、新規入所者が早期に在宅 復帰できるよう機能回復訓練の充実を図る。
- ・利用者、ご家族が安心して在宅復帰できるよう他職種や関係機関と連携した以下の取組の強化を図る。
 - ①積極的な入所前後訪問を実施する。
- ②在宅復帰後の短期入所利用の促進を図り、1日でも長く在宅での生活が維持できるよう支援する。
- ③関係機関と情報を共有し、効率的なベッドの管理に努める。
- ④通所リハビリ利用者のニーズに沿ったサービスを提供する。
- ⑤居宅介護支援事業所等との連携を強化し、通所リハビリ通所リハビリ利用者の増加を図る。

上記取組により、回転率・在宅復帰率を高めることにより介護報酬算定基準のランクアップを図り、 収支改善に努めるととに、経費等費用の削減にも努め経営の健全化を図る。